

300mを一挙に架け替えます。

SHUTOKO RENEWAL PROJECT

首都高速1号線
高速大師橋
リニューアル



橋の架け替え工事のため **1 羽田線 2 週間通行止**
2023年 5月下旬から



高速大師橋リニューアルとは

東京と神奈川をつないで半世紀、
高速大師橋は生まれ変わります。

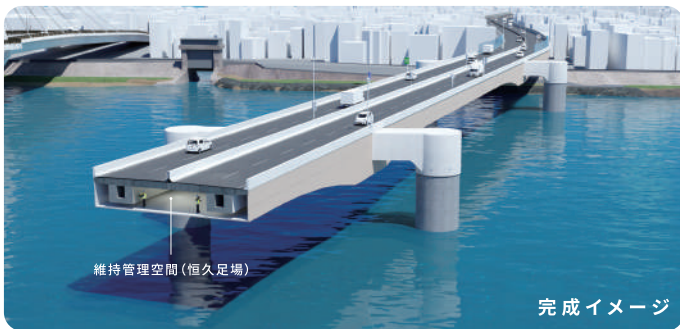
首都高が誕生したのは1962年12月。2年後の東京オリンピックの開催に交通の面で貢献しました。以後、高度経済成長、国際化、IT化、東京2020大会の開催へと、時代とともに変化を遂げる首都圏の大動脈として、経済発展を支え続けてきました。

経済発展に伴い、首都高の交通量は1964年の6万台/日から2022年には100万台/日と急速に増加。過酷な使用状況などにより補修箇所も急激に増加しました。それでも首都高は、適切な維持管理によって社会を止めることなく守ってきました。

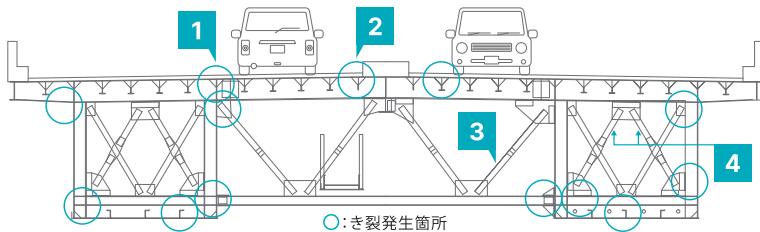
一方、初期に建設された路線では、長期的な安全性の確保から、抜本的な対策が必要となっています。1968年に開通した高速大師橋も、多摩川を渡る1日8万台の交通量を支え続け、これまでに1200か所以上のき裂が見つっています。

きめ細やかな点検と適切な補修により、日々の安全・安心を確保していますが、構造物の長期的な安全性を確保するため、き裂が発生しにくく、長期の耐久性と維持管理性を備えたより優れた構造へと、高速大師橋を造り替えます。

高速大師橋は今、生まれ変わります。
100年先の未来のために。



これまでに確認されたき裂への取り組み



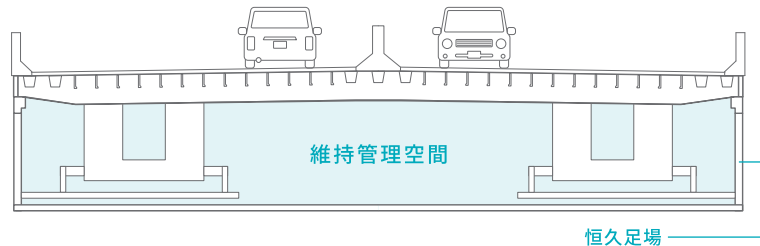
これまでに確認されたき裂 **1200**か所以上



高齢化やたわみやすい構造のため、依然として疲労き裂が発生

長期的な安全性を確保するため、き裂の発生しにくい構造へ

- 耐久性が高く、き裂の発生しにくい構造に
- いつでも点検・補修が可能な維持管理空間（恒久足場）を確保

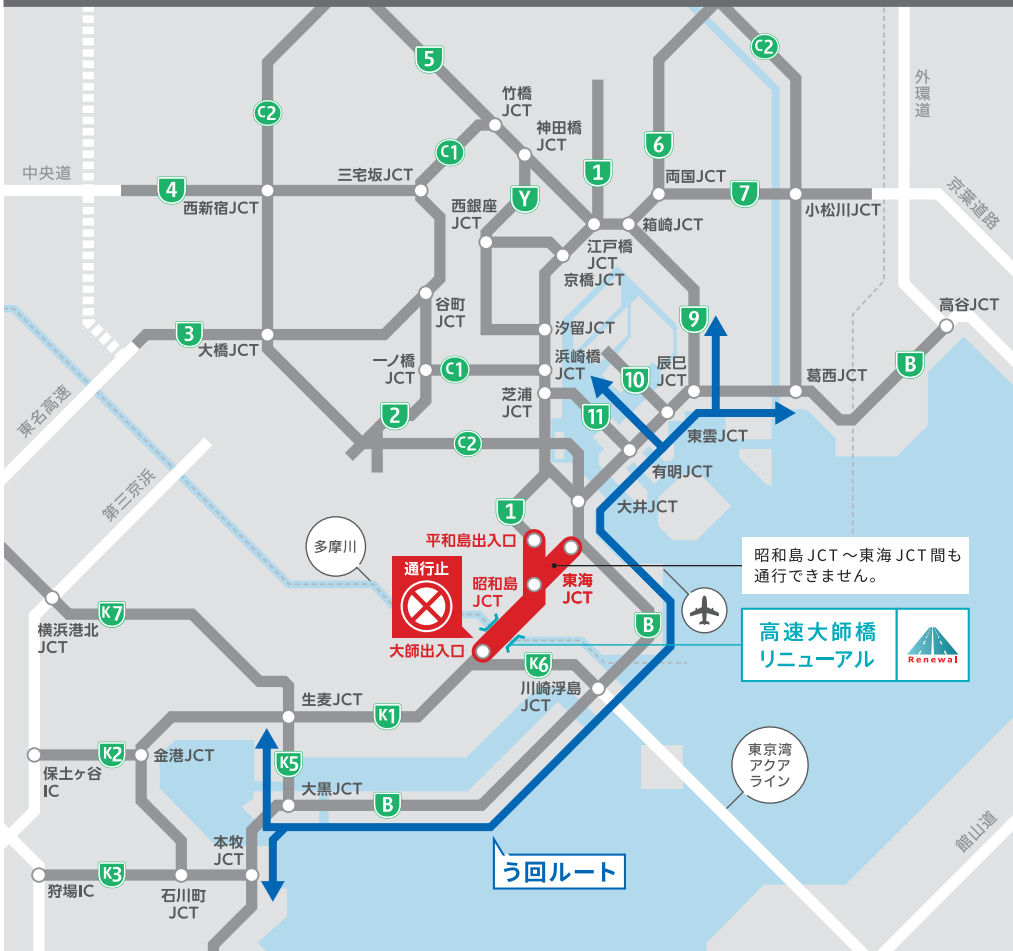


1 羽田線 2 週間通行止 2023年 5月下旬から

通行止区間 **1 羽田線平和島出入口・東海JCT⇄ K1 横羽線大師出入口**

■首都高および通行止区間周辺の一般道路で通常以上の混雑が予想されますので、車のご利用をお控えいただくか、う回ルートをご利用いただくなど混雑緩和へのご協力をお願いします。
■東京⇄神奈川間を行き来される際は、湾岸線経由でのご利用をお願いします。

※ 通行止に伴い閉鎖する出入口については詳細が決まり次第お知らせいたします



WEB SITE 通行止および工事の詳細はホームページで



羽田線 2 週間通行止



100年先の未来へ。守り、残す。

SHUTOKO RENEWAL PROJECT

特に損傷が激しい箇所では、丈夫で長持ちな構造物に抜本的に造り変えます。交通への影響を極力最小限にする工夫や、周辺のまちづくり等との連携も考えながら、事業を進めています。



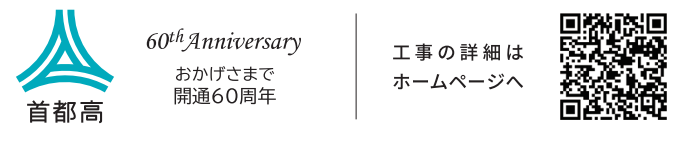
高速大師橋更新事業に関するお問い合わせ

工事についてのお問い合わせ | 更新・建設局 大師橋工事事務所

144-0052 東京都大田区蒲田4-22-3 住友生命蒲田ビル5F
TEL 03-6428-6948 / 受付時間(平日)10:00~17:00

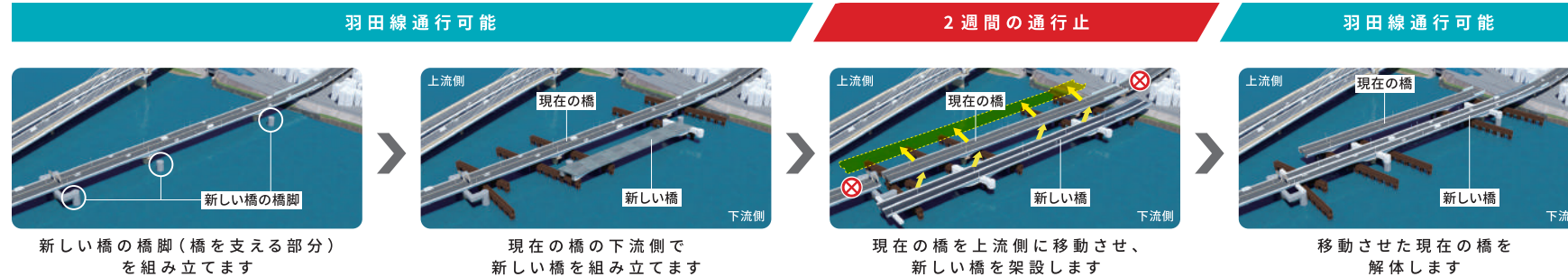
計画についてのお問い合わせ | 更新・建設局 調査・環境課

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-2-1 KANDA SQUARE 17F
TEL 03-6803-3770 / 受付時間(平日)10:00~17:00



約 300 m の橋を2週間で新しく架け替えます

高速大師橋リニューアルでは、現在の橋の隣(下流側)に、長さ約300mの新しい橋を組み立てて、現在の橋と新しい橋をスライドさせて一挙に架け替える工法を採用しています。これにより、現在の橋の撤去と新しい橋の架設という2つの工事を、合わせて2週間という短期間で実施します。



2週間の通行止期間中の工事内容

1

通行止開始・現在の橋の撤去準備

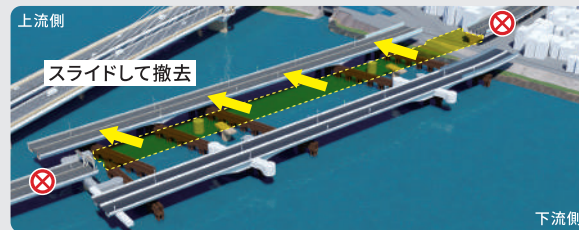
通行止後に、現在の橋をスライドして撤去できるように、現在の橋の両端部分を切断・撤去します。



2

現在の橋の撤去

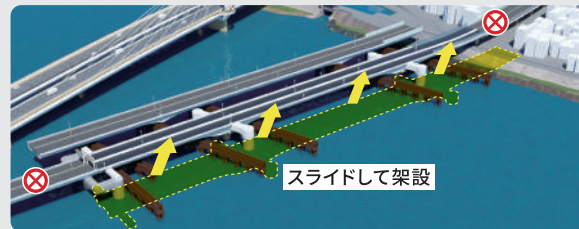
現在の橋を、事前準備の後、ジャッキにより現在の位置から上流側にスライドして移動させます。



3

新しい橋の架設

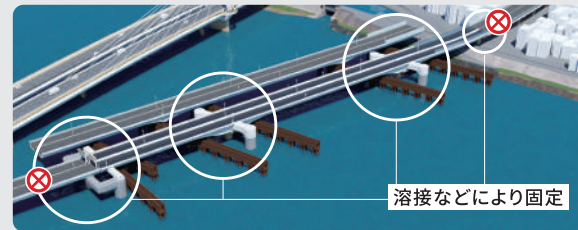
新しい橋を、事前準備の後、ジャッキにより現在の橋が元々あった位置までスライドさせて架設します。その後、最終位置の微調整を行います。



4

新しい橋の固定

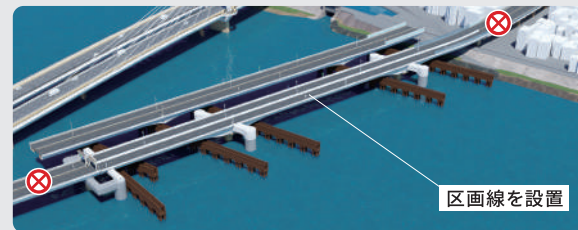
新しい橋を溶接などにより、橋脚や前後の道路と一体化させます。



5

舗装・区画線などの設置

新しい橋をアスファルトで舗装し、区画線や電気設備などを設置します。



6

安全確認・通行止解除

新しい橋を安全・安心にご利用いただくため、最後に安全確認を行ったうえで、通行止を解除します。

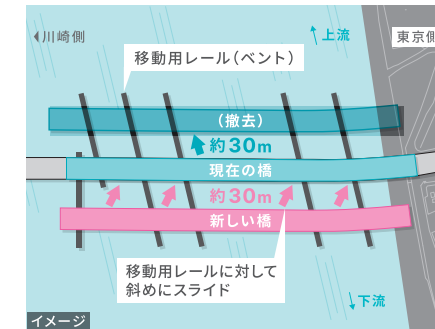


2週間での架け替えを実現するための3つの工夫

現在の橋を撤去し、同じ場所に新しい橋を架けるためには、通常は工事期間が長期にわたります。しかし、1日8万台が利用する高速大師橋で長期間の通行止を実施することは、首都圏全体の交通流に大きな影響を及ぼします。本事業では、2週間という短期間の通行止での架け替えを実現するために、さまざまな工夫を凝らしています。

1 スライドによる一括架け替えを実現

川の流れを妨げない方向に移動用レールを設置する一方で、周辺の建物に当たらない位置に新しい橋を組み立て。その結果、新しい橋はレールに対して斜め方向にスライドする必要があり、高度な管理が必要なることから、2方向のジャッキをリアルタイムに集中管理することで迅速かつ正確な一括架け替えを実現。



2 あらかじめ橋をほぼ完成させて、通行止期間を短縮

架け替え前に、できるだけ照明柱や高欄、舗装などを完成させることにより架け替え後の作業を削減して、通行止期間をできるだけ短縮。



3 雨天でも工事可能な環境を整備して、確実に工程を管理

防雨設備を設置することで、雨天では作業が困難な溶接作業や防水工事などを予定通り実施できるような環境を整備し、確実に工程を管理。

